

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

AWS FargateおよびAmazon Elastic Container Service SLA

最終更新：2022年5月25日

本サービスレベルアグリーメント（「SLA」）は、Amazon Elastic Container Service（「Amazon ECS」）ならびにAmazon ECSおよびAmazon Elastic Kubernetes ServiceのためのAWS Fargate（「AWS Fargate」、総称して「Included Container Services」）の利用に適用される方針であり、Included Container Servicesを使用する各アカウントに個別に適用される。本SLAの契約条件と、[AWSカスタマーアグリーンメント](#)または利用者による本サービスの利用に適用される当社と利用者との間の他の契約（「本件契約」）の契約条件との間に齟齬がある場合は、かかる齟齬の範囲に関してのみ、本SLAの契約条件が適用される。本SLAにおいて使用する用語（英文では大文字で始まるもの）のうち、本SLAで定義されていないものは、本件契約で定められた意味を有するものとする。

SLA

AWSは、Included Containers Servicesに対して2種のSLAコミットメントを行う。（1）複数のAZにわたりデプロイされるIncluded Container ServicesをカバーするMulti-AZ Included Container Service SLA、および（2）Included Container Servicesのタスクおよびポッドを個別にカバーするSingle Task/Pod SLA。

Multi-AZ Included Container Service SLA

同じリージョン（または所定のリージョン内に1つのみのAZがある場合は、少なくとも2つのリージョン）内の2つ以上のAZにわたりすべてのタスクまたはポッドが同時にデプロイされるIncluded Container Servicesについて、AWSは、月次請求期間において、Included Container Serviceを以下の表に示す月間稼働率で利用可能にするため、商業上合理的な努力を行う（「Multi-AZ Included Container Service SLA」）。

月間稼働率	サービスクレジット率
99.0%以上、99.99%未満	10%
95.0%以上、99.0%未満	25%
95.0%未満	100%

Task/Pod SLA

個別の各Included Container Serviceタスクおよびポッド（「Single Task/Pod」）について、AWSは、月次請求期間において、Single Task/Podを以下の表に示すTask/Pod稼働率で利用可能にするため、商業上合理的な努力を行う（「Task/Pod SLA」）。

Task/Pod稼働率	サービスクレジット率
99.0%以上、99.5%未満	10%
95.0%以上、99.0%未満	25%
95.0%未満	100%

サービスクレジット

サービスクレジットは、それぞれ月間稼働率またはTask/Pod稼働率を満たすことができず影響を受けたAWSリージョンの該当するIncluded Container ServiceまたはSingle Task/Podについての、月次請求額の割合として計算される。

サービスクレジットは、該当するIncluded Container Serviceについて今後請求される支払いに対してのみ適用する。当社はその裁量において、利用不可状態が発生した請求期間の支払いの際に利用者が使用したクレジットカードに対して、サービスクレジットを発行することができる。サービスクレジットは、利用者に対し、AWSから返金その他の支払いを受ける権利を与えるものではない。サービスクレジットは、該当する月次請求期間の当該クレジット金額が1米ドル（\$1 USD）を超える場合のみ適用され、発行される。サービスクレジットは譲渡できず、また他のアカウントに充当することはできない。本件契約に別段の規定がない限り、Included Container Servicesの提供における当社の利用不可状態、パフォーマンスの不実行、その他不履行が生じた場合の利用者の唯一かつ排他的な救済は、本SLAの契約条件に従いサービスクレジット（該当する場合）を受け取ることである。

クレジットの請求および支払手続

サービスクレジットを受け取るには、[AWSサポートセンターでケースを作成する](#)ことにより、請求（リクエスト）を提出する必要がある。それぞれ特定のIncluded Container Serviceタスクまたはポッドについて、Multi-AZ Included Container Service SLAおよびTask/Pod SLAに基づくクレームを組み合わせたり、スタッキングすることはできない。対象となるには、インシデント発生後、2回目の請求期間の末日までに、以下の情報を添えてクレジットのリクエストが当社に受領されなければならない。

- i. 件名に「Container Service SLA Credit Request (Container Service SLAクレジットリクエスト)」という文言
- ii. 利用者が主張する各利用不可インシデントの日時

- iii. 影響を受けたタスクまたはポッドのリソースIDおよびAWSリージョン
- iv. エラーを記録し、利用者が主張する停止を裏付けるリクエストログ（これらのログ内の機密情報または機微性の高い情報は削除するかアスタリスク (*) で置き換えること）。

かかるリクエストに関する月間稼働率またはTask/Pod稼働率を当社が確認し、該当するSLA未満であった場合、当社は、リクエストが行われた月の翌請求期間内に利用者にサービスクレジットを発行する。上記要件を満たすリクエストおよびその他の情報を提供しなかった場合、利用者はサービスクレジットを受け取る権利を失う。

Included Container Services SLA例外事由

SLAは、以下のいずれかに直接的または間接的に起因するIncluded Container Servicesのいかなる利用不可状態、停止もしくは終了、またはIncluded Container Servicesのその他のパフォーマンス上の問題にも適用されない。**(i)** 不可抗力事由またはIncluded Container Servicesの責任分界点を超えるインターネットアクセスもしくは関連する問題を含む、当社の合理的な支配の及ばない要因に起因する場合、**(ii)** 利用者の作為もしくは不作為（回復ボリュームの認識失敗またはリソース健全性に関する懸念への不対応を含む）に起因する場合、**(iii)** 利用者の装置、ソフトウェアもしくはその他のテクノロジーに起因する場合、**(iv)** 本件契約に従い、当社が利用者のIncluded Container Servicesの利用権を停止または終了したことに起因する場合。当社の月間稼働率またはTask/Pod稼働率の計算で使用されるもの以外の要因が可用性に影響を与えている場合には、当社はその裁量において、かかる要因を考慮してサービスクレジットを発行することができる。

定義

- AWS Fargateにおける「月間稼働率」は、月次請求期間中の各1分間のインターバルにおいてAWSタスクまたはポッドが利用不可であった割合を100%から差し引いて計算され、Amazon ECSにおいては、月間の各分においてAmazon ECSタスクが利用不可であった割合を100%から差し引いて計算される。
- AWS Fargateにおける「Task/Pod稼働率」は、月次請求期間中の各1分間のインターバルにおいてSingle Task/Podが利用不可であった割合を100%から差し引いて計算され、Amazon ECSにおいては、月間の各分においてAmazon ECSタスクが利用不可であった割合を100%から差し引いて計算される。
- 「サービスクレジット」とは、対象となるアカウントにクレジットされることのある、上記の規定により計算されたドル建てのクレジットをいう。
- 「利用不可」とは、以下を意味する。
 - AWS Fargateに適用されるMulti-AZ Included Container Service SLAの場合、2つ以上のAZに同時にデプロイされたすべての実行中タスクまたはポッドが1分間のインターバル中に同時に失敗したとき。Amazon ECSに適用されるMulti-AZ

Included Container Service SLAの場合、2つ以上のAZにデプロイされた利用者のすべての実行中タスクがその時点で外部接続性を欠いているとき。

- AWS Fargateに適用されるSingle Task/Pod SLAの場合、利用者のSingle Task/Podが1分間のインターバル中に失敗したとき。Amazon ECSに適用される場合、利用者のAmazon ECSタスクが外部接続性を欠いているとき。